

鶴舞こども園保護者説明会資料

日時：平成31年4月22日（月）

場所：鶴舞こども園

社会福祉法人 郡山双葉会

ご挨拶

鶴舞こども園の保護者の皆様はじめまして、この度、鶴舞こども園の民間移管に伴い、運営法人に選定いただきました社会福祉法人郡山双葉会 業務執行理事 やまと保育園 園長 生田宏史です。

保護者の皆様におかれましては、平成 25 年 7 月に「奈良市幼保再編実施計画」発表から、今日に至るまで園の存続や民間移管と日々不安を抱えながらの子育ては、心配も多かったと存じます。その中、奈良市立幼稚園に対する 3 歳児保育や預かり保育の実施や保育園に対する待機児童の解消や延長保育実施の声を統合し、幼保施設が抱える喫緊の課題（市立幼稚園の過小規模化、保育所の待機児童の増加、施設の老朽化）の解消とともに、幼稚園と保育園を統合し多様なニーズに対応できる幼保連携型認定こども園化への計画実施については、奈良市民間保育園長会で計画遂行段階から随時知るところでした。特に、鶴舞こども園の民間移管については、計画段階から保護者や地域の方々の熱い思いを聞かせていただいたことにより、これまでの保育者としての経験や知識を生かし、地域の方や保護者の方々と共に守り育ててこられた歴史ある鶴舞こども園の運営に携わりたいと、日に日に強く思うようになり応募させていただきました。

結果、平成 30 年 4 月と平成 31 年 1 月の二度に涉り応募させていただくことになりましたが、二度の応募から私たちは、幾度となく鶴舞こども園の先生方や地域の方や関係者の方とお話しする機会をいただき、その思いに寄り添うことと鶴舞こども園そのものを学ぶことができました。移管先法人決定の知らせが届いてから、鶴舞こども園の先生方や育友会の代表の方とご挨拶に向かう道のりでは、小学校の校門から緩やかな坂を上がると桜やタンポポが咲き、鳥のさえずりが聞こえ、この自然豊かな素晴らしい環境の中で子ども達を育てることができることに改めて嬉しく誇りに思いました。

皆様とは、法人責任者として深く関わらせていただき、今まで以上に質の高い教育・保育を提供できるよう丁寧な運営を心掛け、一人ひとりの子どもの主体性を大切に、「育ち合い 学び合う こども園」として、鶴舞こども園の発展した新しい形を保護者や地域の方々と共に、作り上げたいと思います。

社会福祉法人郡山双葉会 業務執行理事
やまと保育園 園長 生田 宏史

ご挨拶

この度、鶴舞こども園の民間移管に伴い、運営法人として選定いただきました社会福祉法人郡山双葉会 やまと保育園 副園長並びに鶴舞こども園園長予定者の浅野嘉代子と申します。私は奈良市秋篠町にあります「あかね保育園」で14年間園長として就任し、奈良市公私立保育園園長会では副会長として奈良市内のこども達が伸び伸びと、その子らしく心と体が成長できるように、市内保育園の皆様と一緒に、学び、交流しつつ、より良い教育・保育を進めてまいりました。その園長会の中で、奈良市の幼保施設の喫緊の課題(民間移管化等)が提案され、特に、鶴舞こども園の民営化のことをお聞きし、保護者や地域の方々は不安が募っておられるだろうと皆様の思いを考え、心を痛めておりました。

保育・教育を行っているものとして、奈良市の職員の方々が保護者や地域の皆様と一緒に培ってこられた鶴舞こども園の素晴らしい53年の歴史を何とか引き継ぎ、運営に関与できないものかと考えていた時に、縁あって、当法人より声をかけていただき、鶴舞こども園の園長として就任することになり、とても、嬉しく、光栄であり、身の引き締まる思いです。

私は鶴舞こども園を初めて訪問させていただいた時、目の前には木々が立ち並び、周りからは鳥の声も響き、まるで別世界にきたような風景に出会い、心も和み、この地で教育・保育ができることに感銘を受けました。学園前という開かれた地域に、こどもの育ちにとって一番大切な自然環境を守ってこられた保護者をはじめ地域の方々に敬意を表するとともに、この素晴らしい環境の中で、こども達の教育・保育に携われることを楽しみにしております。

何よりもこども一人ひとりをしっかりと受け止め、安心感の中で、伸び伸びと遊び五感を使って、心揺さぶる経験や遊びの中から心の豊かさや命の大切さなどを感じるように、教育・保育環境を整えていきたいと思っております。また、今までの経験を活かし、鶴舞こども園の教育・保育を継承し、保護者の方々に寄り添い、こどもも大人も「ともに育ち合い、学び合うこども園」を目標に、奈良市第1号の公私連携幼保連携型こども園の民間移管は実施して良かったと思っただけでなく、保護者や地域の方々と共に、発展した新しい形のこども園を作り上げていきたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

社会福祉法人郡山双葉会 やまと保育園副園長
鶴舞こども園 園長予定者 浅野 嘉代子

法人の概要	
法人名称	ふりがな しゃかいふくしほうじん こおりのやまふたばかい 社会福祉法人 郡山双葉会
法人事務所所在地	奈良県大和郡山市筒井町 145-1 やまと保育園内
代表者名	ふりがな りじちよう はいとう ただお 理事長 灰藤 忠雄
業務執行理事	ふりがな りじ いくた ひろし 理事 生田 宏史
設立年月日	昭和 55 年 8 月 21 日
職員数	100 人
沿革	昭和 56 年 やまと保育園開園 定員 90 名 平成 13 年 やまと保育園分園開園 定員 29 名 平成 15 年 グループホームなごみ開園 定員 9 名 平成 16 年 ふたば保育園開園 定員 90 名 平成 20 年 やまと保育園を増改築 定員 120 名に変更 平成 22 年 はぐみ保育園開園 定員 90 名 平成 28 年 ふたば保育園を増改築 定員 140 名に変更 平成 29 年 やまと保育園を幼保連携型認定こども園に変更 定員 135 名に変更 平成 31 年 ふたば保育園を幼保連携型認定こども園に変更
法人の事業概要	第 2 種社会福祉事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園 やまと保育園の経営 ・ 幼保連携型認定こども園 ふたばこども園の経営 ・ 保育所 はぐみ保育園の経営 ・ 認知症対応型老人共同生活援助事業 なごみ筒井の経営

鶴舞こども園の運営に当たっての基本理念

現在の子どもの取り巻く環境は、少子化の進行にともない、子どもが互いに育ち合い人格形成の基礎を培う機会が縮小する傾向にあります。幼保連携型認定こども園では、保育園と幼稚園の両方に機能を併せ持つ事により、0歳から就学前の子どもを受入れることにより、切れ目のない集団生活の機会の提供と、乳幼児期から安定した情緒の下で発達に必要な体験を重ね、園児が主体的に活動できる生活を過ごし、家庭や地域を含めた園児の生活全体が豊かなものにならなければなりません。

幼保連携型認定こども園の移行については、保護者の不安の解消に努め、公立幼稚園として長年培ってきた「心豊かで、たくましく生きるこどもの育成」と「育ち合い学び合うこども園」という教育・保育の目標を受け継ぎ、こども園・保護者・行政が互いに子どもの最善の利益を優先し、信頼関係を深め協力して取り組むことを大切にします。また、核家族化等による親の子育て不安も広がっている中、子ども達が「豊かな環境と人とのかかわりの中で生きる力を育てる」ことが大切であり、人が『人間として育つ』根っこを乳幼児期にしっかり育むことが最大の使命と考えます。

- ・豊かな自然環境と人とのかかわりの中で、生きる力を身につけます。
- ・家庭的な温かい雰囲気大切に、安心して心地良さを感し、心が安定した時間を過ごします。
- ・人の気持ちがわかり、人を思いやる優しい心が芽生えるように、子どもの気持ちを大きな心で受け止めます。
- ・健やかな心と体をはぐくみます。
- ・職員は信頼関係の下に刺激を受け合い、笑顔と思いやりの心を大切に、常に向上心を持って歩み続けます。
- ・子育てを通して共に悩み、協力し合って、お母さんお父さんのいちばんの応援団であります。
- ・子どもの発見やつぶやきに目を向けて、一緒に感動・驚き・疑問を持つ気持ちを大切にします。
- ・地域と共に子どもの成長を喜び手に手を取って、いつまでも「心のふるさと」であり続けます。
- ・地域に開かれたこども園として、子育てセンターとなり子育てを応援します。

開園日・開園時間（案）			
年間開園日数	292日		※ 休園日数 73日
休園日の設定	日曜日・祝日・年末年始・土曜日（1号認定）		
	1号認定子どもの長期休業期間 8月5日～8月25日・12月25日～1月5日・ 3月25日～4月4日		
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7:30～19:30
		保育時間（1号）	9:00～14:00
		保育時間（2・3号短時間）	8:30～16:30
		保育時間（2・3号標準時間）	7:30～18:30
	土曜日	最大開園時間	7:30～18:30
		保育時間（1号）	～
		保育時間（2・3号短時間）	8:30～16:30
		保育時間（2・3号標準時間）	7:30～18:30

特別保育事業	
1号認定子どもに対する 幼稚園型一時預かり事業 （預かり保育）	実施時間 7:30～9:00/14:00～18:00
2・3号認定子どもに対 する延長保育事業	実施時間 18:30～19:30

保育料以外の保護者負担について（案）2020年4月～		
名称	金額	内容
教材費	600円/月額	毎月使用する絵本等の教材代金。
給食費（1号認定）	3,740円/月額 ※未確定	給食費・主食費については、10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化で示される国の基準に鑑み料金の改定を行う予定です。
主食費（2号認定）	未確定	
昼寝用リースふとん	1,620円/月額	昼寝時のふとんの衛生面を考え、コットベットの使用予定です。基本的にリースをお願いしますが、持ち込みについても対応する予定です。
行事費	実費	遠足等の行事にかかる実費。
保育用品	実費	体操服・上靴・カラー帽子・通園リュック・スモックなど
預かり保育	500円/日額	1号認定子どもに対する幼稚園型一時預かり事業
延長保育	100円/1時間	2・3号認定子どもに対する延長保育事業

※保育料以外の保護者負担については、三者協議会において、保護者の意見に十分配慮して最終決定します。

施設整備にあたっての考え方

鶴舞こども園は、幼保連携型認定こども園として新たに0歳児～2歳児の子ども達の教育・保育を担うことから、0歳児～就学前の全ての園児が同じ園舎で生活を共にすることで、一体的な教育・保育活動を展開したいと考えます。また、内廊下とすることで、より防犯面を強化し、雨風の吹き降りや地球温暖化に起因する熱波や寒波などの自然災害の影響を最小限にし、乳幼児が快適に生活する環境を整えます。現在通われている保護者の皆様には、思い入れのある園舎の建替えを行うことや、これまでと変わらない教育内容や行事が計画されるのかと不安と心配があると存じあげます。工事期間中は、仮園庭の設置や遊具の一部移設や仮農園の設置を行うとともに、小学校運動場の使用もお願いし、これまで通りの教育内容や行事が行われるように三者協議会において保護者の意見に十分配慮し努力いたします。

また、敷地の南側に新園舎を建築することにより、現状園舎の保育区画と新園舎の工事区画を分けることにより、工事中は、園児や保護者の安全確保のためガードマンの配置や既設園舎解体時の騒音の軽減のため防音シートの設置、戸外遊びのスペースの確保など、現状のこども園運営の影響を最小限に抑えたいと思います。また、現在の自然環境を大切にされている精神は受け継ぎ、現在園庭の花や木々を出来るだけ残すことにより、自然豊かな環境を受け継ぎます。

施設整備の概要

【整備時期】

2019年11月～2021年2月予定

- ・仮囲い、工事事務所、進入路工事 2019年11月～12月予定

(内容) 工事進入路(南門)にスロープを設置します。設置に伴い、既設プールを撤去し、園庭に安全確保の為に仮囲いと工事事務所を設置します。工事中は、遊具の一部と農園を仮設置エリアに確保します。期間中は、仮園庭の確保と小学校運動場の使用をお願いする予定です。

- ・新園舎建築工事 2020年1月～2020年8月予定

(内容) 新園舎の建築工事を行います。期間中は、仮園庭の確保と小学校運動場の使用をお願いする予定です。

- ・既設園舎解体工事 2020年10月～2021年2月予定

(内容) 既設園舎の解体工事を行います。期間中は、仮園庭の確保と小学校運動場の使用をお願いする予定です。

【添付資料】

- ・工事工程表
- ・新園舎平面図イメージ
- ・新園舎工事図
- ・既設園舎解体図
- ・工事完了後の園庭イメージ図